







企業経営とSDGsを関連づける動きが広がる

◆住友化学、自社製品・技術とSDGsの17目標とを関連付けて認定

住友化学は2019年7月、持続可能な社会の実現に貢献する製品・技術（「スマカ・サステナブル・ソリューション」）として、新たに4製品・技術を認定したと発表した。たとえば、「コバルトコート水酸化ニッケル正極材」は、高出力なニッケル水素電池の設計ができ、コバルトの使用量も削減できる。これは、SDGs（持続可能な開発目標）17の目標のうち「7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」と「12. つくる責任、つかう責任」に対応する。また、「炭酸ガス分離回収技術」は、グループの火力発電所の排ガスからCO₂を分離回収し、化学品製造の副原料として使用するもので、「13. 気候変動に具体的な対策を」に貢献する。

16年11月以降、今回で認定製品・技術数は48となる。その売上高は3,800億円に相当し、21年度に5,600億円を目指している。




スマカ・サステナブル・ソリューション認定製品・技術とSDGsの関連付けの例

| 偏光フィルム製造における UV 接着プロセス | バイオリショナル製品 (微生物農薬、植物生長調整剤、根圏微生物資材) |
|---|--|
| ディスプレイ材料である偏光フィルムの製造工程で、従来法に比べ大幅な省エネルギーを達成 | 天然物由来などの有効成分を利用。持続可能な農業の推進や、安全・安心な農作物の安定供給に貢献。 |
|    |    |

◆三井化学、積水化学も自社製品を認定し、SDGsと関連付け

一方、三井化学では、環境に貢献するBlue Value製品、QOL（生活品質）向上につながるRose Value製品を認定して、SDGs目標と関連付けている。25年度にそれぞれで売上高比率30%、あわせて60%を目標に掲げている。

三井化学：SDGsとBlue Value製品との関連付けの例

| CO ₂ を減らす | | | ABS ピストン「アーレン」 ：金属部品からの代替により 60%の軽量化が可能 |
|---|---|---|--|
|  |  |  | 太陽光発電の診断サービス ：太陽光パネルの発電能力低下を防止して、GHG削減に貢献 |

また、積水化学では長年、環境貢献製品を認定しており、17年からは「世界のひとびとのくらしの向上」に貢献する社会環境貢献製品も導入している。埼玉県朝霞市の「SEKISUI Safe&Sound Project」は、環境にやさしいサステナブルなまちづくりとして、SDGs「11.住み続けられるまちづくりを」に対応している。

積水化学：社会環境貢献製品の一例

| ウイルス性疾患の検査薬 | 合成木材 FFU |
|---|--|
| ウイルスに感染しているかどうかを診断する検査薬。病気の早期発見につながり、健康寿命を延長。 | 高い耐久性を有する合成木材。線路のまくら木として活用され、モビリティ霜降の安全を強化 |
|   |    |

◆ 積水ハウスや住友林業も、経営課題とSDGsの関係を整理

積水ハウスは19年5月に発表したサステナビリティレポートで、自社サステナブル・ビジョンで定めた4つの価値（環境・経済・社会・住まい手）とSDGsの関連を整理している。住友林業も19年5月に発表した中期経営計画で経営の重要課題とそれに対応するSDGsを整理している。木材・資材の調達には持続可能性と生物多様性に配慮するとして、「15.陸の豊かさを守ろう」や「17.パートナーシップで目標を達成しよう」などに貢献している。

積水ハウス「4つの価値と13の指針」とSDGs

| 環境価値 | ・エネルギー ・資源 ・化学物質 ・生態系 |     |
|--------|--------------------------------|---|
| 経済価値 | ・知恵と技 ・地域経済 ・適正利潤と社会還元 |    |
| 社会価値 | ・人材づくり ・地域文化と縁起こし ・共存共栄 |      |
| 住まい手価値 | ・豊かさ ・快適さ ・永続性 |     |

日本では、企業が経営課題やサステナビリティを説明、報告する際に、SDGsと関連付けることを避けて通れなくなりつつある。 【長谷川雅史】